

令和8年4月定例教育委員会会議録

日 時	令和8年4月16日（木）午後0時00分～午後1時00分	
場 所	扶桑町役場 第5会議室	
出席者	教育長	澤木貴美子
	教育長職務代理者	熊崎 規恭
	教育委員	江口 夏世
	教育委員	千田 正仁
	教育委員	菱田 靖子
	教育部長	仙田 剛宏
	学校教育課長	陸浦 裕司
	生涯学習課長	松原 薫
	学校教育担当主幹兼指導主事	
		有馬 亜希
	学校教育担当統括主査兼指導主事	
		上田 勇人
議 題 及 び 結 果	2 協議事項	
	(1) 令和8年度4月要・準要保護児童生徒の認定について	承認
	(2) 当面の諸課題について	
	3 連絡事項	
	(1) 行事予定表について	
	4 その他	
	(1) 各小中学校の補助教材決定の報告	

令和8年4月定例教育委員会会議録

日時 令和8年4月16日(木)

午後0時00分

場所 扶桑町役場 第5会議室

1 あいさつ

発言者	発言の要旨
指導主事	令和8年4月定例教育委員会を始めます。1. あいさつということで教育長先生をお願いします。
教育長	季節は「清明」、七十二候は「虹始見(にじはじめてみる)」で、雨上がりの春に虹が初めて出る頃ということでございます。まだ今年は見えていませんが、これから夏にかけて虹が見られるといいなと思います。特に二つかかっているのが、「福虹」ということでいいことがあると言われていています。今年も見たいなと思っております。どうぞよろしくをお願いします。

2 協議事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事	それでは2. 協議事項に移ります。(1) 令和8年度4月要・準要保護児童生徒の認定についてということでお願いいたします。
教育課長	別紙1をご覧ください。令和8年度新1年生について、合計14名の児童生徒が認定されております。続きまして、在校生について、合計7名の4月認定分です。令和7年度中に認定した分が4名です。合計が、児童129人、生徒66人となります。以上です。
指導主事	何かこの件に関して、ご意見ご質問等ございますか。ないようですので、この件に関しましてお認めいただけますか。
教育委員	はい。
指導主事	続きまして、(2) 当面の諸課題について、お願いいたします。
教育長	まず、今年度の在籍数になります。柏森小が739人、高雄小490人、山名小249人、扶桑東小343人、扶桑中535人、扶桑北中426人で、合計2782人の小中学生が在籍しています。扶桑北中だけプラス7人で、あとは少しずつ減少ということになっており、全体で59名のマイナスということになります。令和元年と比べると233名のマイナスとなっています。このように子どもの数は減っています。 今年度の扶桑町の教育委員会の方針は資料1をご覧ください。3月に出してから変わっていませんので、後ほどご覧ください。 学校教育についてです。(資料を基に説明) 生涯学習についてです。(資料を基に説明) 報告・連絡についてです。(資料を基に説明) 最後、話題です。(資料を基に説明)

指導主事 教育委員	何かご意見ご質問等ございますか。 扶桑北中学校のプールの件について、いろいろと検討していただいているとは思いますが、緊急的な措置は令和8年度実施するとして、今後はその緊急的な措置が続くのか、修繕をするのかは決まっていますか。
教育長 教育委員	現在は決まっていません。今後の検討が必要かと考えています。 他の学校もプールの維持管理費が常に加算していくわけなので、壊れるか壊れないかに関わらず、その維持管理費との天秤にかけたときによりメリットがある民間の利用等も可能性としてあり得るということですか。
教育長 教育委員	これから試算していく中で検討していきます。 プールを維持していくにあたり1年間のランニングコストというのは概算としてどの程度かわかりますか。
教育課長	水道代だけで考えるとワンシーズン10万円ですが、そこに薬品代や先生方が維持管理における労力等を考えると、より多くの費用がかかると見立てています。
指導主事 教育委員	その他、何かございますか。 ありません。

3 連絡事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事	それでは、3. 連絡事項にうつります。(1) 行事予定表についてお願いいたします。
教育課長	学校教育について、お願いします。(別紙について説明)
生涯学習課主幹	生涯学習について、お願いします。(別紙について説明)
指導主事	行事予定について何かご質問等ございますか。
教育委員	ありません。

4 その他

発言者	発言の要旨
指導主事	それでは、4. その他に移ります。(1) 各小中学校の補助教材決定の報告について、お願いいたします。
指導主事	各学校の補助教材を一覧にまとめた資料をご覧ください。2点補足をお願いします。1点目が、記載されている教材の有無についてです。各校で、図工や理科などの教材についてバラつきがあります。これについては、年度当初で決まっていなかったものもあるため載せることができなかったということで学校から報告をいただいています。よって、このように合計金額に差が出ています。2点目については、今年度よりジャストスマイルドリルという学習AIドリルが小学2年生から中学3年生まで保護者負担によって導入されていることです。こちらの件で、何かご意

<p>教育委員</p>	<p>見ご質問等ございますか。</p> <p>ジャストスマイルドリルはどのような内容のものですか。漢字ドリルや計算ドリルがなくても大丈夫なものですか。</p>
<p>指導主事</p>	<p>すべてを確認したわけではありませんが、出題される問題によって、タブレット端末上で書いたものを文字認識してくれるような機能や選択するものもあります。なお、子どもたちにはペンと同様の形状のタッチペンを配付しているので、それを使って利用もできます。なお、計算ドリルについて問題は充実しているため、代替はしやすいと聞いていますが、漢字ドリルについては練習をするような対応をするために様子見なので、漢字ドリルは購入している学校もあります。また、中学校において、国語については著作権のこともあり、長文の読解問題は多くないと聞いています。今後はジャストシステムの担当に要望を上げつつ、活用の方法を検討していきたいと考えています。</p>
<p>指導主事</p>	<p>他にございますか。ないようですので、4月定例教育委員会を閉じたいと思います。ありがとうございました。</p>